

函館スプリントステークス

<最終見解>

今年の函館芝はマイル指向の末脚が決まりやすい馬場。
33秒を切るぐらいの上がりを出した馬が勝ち負けするレースを想定。

函館SSは例年米国型血統に相性の良いレースですが、
今年も米国血統から直線スピードを強化された馬が走りやすいそう。

本命はプルパレイ。

母は当レースに相性の良い米国血統。
ダンチヒ、インリアリティ、ホーリーブルとスピード血統が詰め込まれた母系。
このメンバーでの直線スピードは最高レベル。

ナムラクレアは自身の能力発揮、今の馬場傾向からも距離短縮は歓迎。
プルパレイと同じサンデー系×米国型の配合。

キャプテンドレイクは当レースに相性の良いミスプロ系で
洋芝スプリント適性も高いロードカナロア産駒。

エプソムカップ

<最終見解>

父か母父キングマンボ系が3連覇中のレース。

過去5年中3年で、距離延長でスムーズに3番手以内に先行した馬が穴馬券を演出。

一昨年はトールスジェミニ、3年前はサラキア、5年前はダッシングブレイズが該当。

本命はトールスジェミニ。

父キングマンボ系。母父も非根幹距離適性高い距離延長。
3番手以内につけられる可能性は高いメンバー構成。一昨年の3着馬。
欧州型の非根幹距離血統は、得意条件を高齢になっても何度も走るのも特徴。

ダーリントンホールも父欧州型で距離延長。
非根幹距離変わりも歓迎の血統。

以下父か母父がキングマンボ系のジャスティンカフェ、ザダル。